



大会日報

月曜版・2004年5月24日・日本 大阪市

ホスト組織主催行事

ホスト組織委員会は今晚のために2つ特別行事を企画しました。大阪の中心を流れる道頓堀川沿いで行われる水のショー、あるいは世界でも有名な神戸牛と生の音楽を味わうことのできる神戸へのクルーズの、いずれかをお楽しみください。

神戸クルーズは完売となり、あいにくチケットの販売は終了させていただきましたが、食べ物、劇場やショッピングの名所でもあるネオンに輝く道頓堀川沿いのプロムナードでのショーは、まだご参加いただけます。大阪の繁華街の光景と音楽をお楽しみください。このイベントは無料となっておりますが、予約が必要です。

ホスト組織委員会主催行事は、チケットが残っている場合、国際会議場のプラザ階にあるHOCチケット販売ブースでお求めいただけます。

春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて 冷しかりげり
In the spring, cherry blossoms, in the summer the cuckoo. In autumn the moon, and in winter the snow, clear, cold.
 —「本来面目」道元禅師(1200~1253) — "Innate Spirit" the priest Dogen (1200-1253)

今大会の題されたテーマである四季に鑑み、13世紀の禅僧によるこの有名な日本の短歌は、あらゆる文化が共有する、世界の政治の影響を受けずに自然に移り変わる季節を、見事に表現しています。



[photo: the Osaka Tourist Association]

百年史サイン会

本日の午後3時から4時半まで、現、元、次期RI会長が集まり、ロータリー100周年を記念してRIが出版する感動的な歴史本、「奉仕の1世紀：国際ロータリー物語」のサイン会を行います。サイン会は国際会議場1階のプラザで開かれます。

午前8時半から午後12時半まで大阪ドーム外のプラザに、また、百年史サイン会中およびその前の1時半から4時半までは大阪国際会議場に、特別販売ブースが設置されます。大阪ドームでのご購入は、日本円による現金払いのみとなります。他のすべての場所では、円での現金払いの他に、クレジットカード(ビザ、マスターカード、JCB、アメリカンエクスプレスのみ)でのお支払いも承っております。百年史は、水曜日まで、リーガロイヤルホテルの出版物販売ブース(2階松の間)およびロータリー100周年記念ブース(3階光琳の間)でもお買い求めいただけます。

「奉仕の1世紀：国際ロータリー物語」は英語版と日本語版が用意されており、価格は2,650円(米貨25ドル)です。本革装丁の限定版も、10,600円(米貨100ドル)でお買い求めいただけます。フランス語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語版のご注文も承っております。発送は2004年7月となります。

サインは1名につき1冊まで、先着600名様までに限らせていただきます。

100周年を中心に据える第2回本会議

月曜日の本会議ではロータリー100周年に焦点が当てられ、元RI会長であるクリフォード L. ダクターマン100周年記念運営委員会委員長による講演で幕が切られます。ダクターマン氏は、新世紀を成功へ導くための準備を進める一方、ロータリアンがこのロータリーの節目を祝うことのできる数々の方法を中心にお話して下さる予定です。元RI会長であるチャールズ C. ケラー・ロータリー百年史委員会委員長からは、特別に製作された歴史本、「奉仕の1世紀：国際ロータリー物語」の紹介があります。この本は現在、リーガロイヤルホテルの出版物販売ブースおよび100周年記念ブースにて、英語版と日本語版が販売されています。



クリフォード L. ダクターマン チャールズ C. ケラー ジョナサン B. マジア

また、7校ある平和および紛争解決の分野における国際研究のためのロータリーセンターのうちの1校が存在するイングランドのブラッドフォード大学平和研究学部教授、ポール・ロジャース氏も本大会で講演をしてください。

RI理事会およびジョナサン B. マジアベRI会長のご家族の紹介の後、今年度の数多くの達成事項と関連して会長が大会の基調講演を行います。

大会の総計

44,430名の参加者/101カ国より

※ 5月22日現在の統計

ROTARY INTERNATIONAL



国際大会委員長からのメッセージ

世界各地から4万5千人のロータリアンが、この大阪市を中心とする関西の地へ集まって来られたことをうれしく思い、大阪・京都・神戸等ホスト4地区では大歓迎致します。



千 玄室

日本で国際大会が開かれるのは三度目ですが、関西での開催は初めてのことであります。関西は、奈良、京都と1300年に及ぶ日本の首都が置かれていた場所であり、日本文化の発祥の地であります。

地域内には数多くの世界文化遺産があり歴史探訪や観光には最適の場所と申せましょう。この機会に大いにお楽しみください。

ロータリーの国際大会は、世界各地のロータリアンが情報を交換し、親睦・交流を深める場です。多くの人と友情を結び「Lend a Hand」の奉仕の心を分かち合ってください。

ポール・ハリスがシカゴに最初のロータリーを創ってから99周年の今年の国際大会は、ロータリー第二世紀に向けてのロータリーの理想を発信していく時です。

ポール・ハリスが唱えた「慈愛・寛容・忍耐」の精神に立脚して、真の人類愛を培い世界平和の理念を実現できるロータリーにみんなの力で推し上げたいのです。

日本での国際大会を充分にお楽しみください。

千 玄室

2004年国際大会 委員長

会長主催表彰昼食会

現RI役員、地区ガバナー、クラブ会長、RI委員会委員および配偶者、ならびにその他の国際大会登録者は、会長主催表彰昼食会にご参加ください。月曜日の午後12時半から2時半まで、国際会議場3階（イベントホールA/B/C）で開催予定の昼食会では、ロータリアン音楽家の国際親睦グループによる演奏があります。

要チケット行事となりますので、国際会議場5階のメインホワイエに設置された登録サービス・エリアのRIチケット販売所で残券の有無をお確かめの上、ご購入ください。

大会重要事項

- 医療上の援助が必要な場合、大阪国際会議場（OICC）805号室に設置された救急処置オフィスにご連絡。または、赤いはつぴと赤または白い帽子を着用の会場監督にご連絡ください。
- 大会公認カメラマンによる大会のスナップ写真は、リーガロイヤルホテル2階の牡丹の間友愛の家に設置された写真ブースに展示されています。
- 大阪に関する詳細は、友愛の家でお問い合わせください。大会会期中にお知り合いのかたがたと会われる場合は、友愛の家にいる光琳の間をお使いください。
- 大阪国際大会の登録者をご確認になりたい

方は、大阪国際会議場5階のメインホワイエの登録エリアでお問い合わせください。

- お忘れ物をお探しの場合は、大阪国際会議場7階の702号室の会場監督事務所内のお忘れ物と拾得物エリアにお問い合わせください。
- 大阪国際会議場のプラザに設置されている地元旅行者、JTBからツアーと観光に関する情報をお問い合わせください。
- 大会への初めての参加者、および多言語を話す方々は、リーガロイヤルホテル2階の梅の間にある事務局の会員サービス・ブース（Membership Services Booth）でステッカーをお受け取りください。

クラブおよび地区のプロジェクト展示

毎日、世界中で、ロータリアンは恵まれない人たちに手を差し伸べています。行われているすべての人道的奉仕プロジェクトを列挙することは不可能ですが、「手を貸そう」クラブおよび地区プロジェクトの展示は傑出した代表的なプロジェクトを展示しています。リーガロイヤルホテル2階の桐、桂、牡丹の間に設置されている展示は、保健、児童福祉、災害救援、および環境保全などに焦点が当てられています。

- 日本熊森協会への植樹プロジェクト
環境保全活動の一環として、第2680地区、尼崎の6つのロータリークラブは、地元近辺の森に棲む熊の保護に手を貸しています。このプロジェクトを実施した理由は、その森には豊富な水源があり、熊を含む多種の野生動物の棲息地であるからです。クラブは、「大型野生動物の棲む豊かな森を次世代へ」をモットーにした日本熊森協会を支援しています。

- シェルターボックス
イングランド、コーンウォル、ヘルストン・リザード・ロータリー・クラブによって開始された、シェルターボックスは、災害の被害者に緊急用シェルターを提供するプロジェクトです。49ガロンのボックス1個に、10人用テント、寝袋、調理用具、ボンチョ、浄水剤など非常時用品が入っています。このプロジェクトは、米国、フロリダ州、レークウッド・ランチ・ロータリー・クラブ、カナダ、ブリティッシュ・コロンビア、レディースミス・ロータリー・クラブ、およびオーストラリア、ビクトリア州、エンディーバー・ヒルス・ロータリー・クラブとの協力により、1,500個以上

のボックスがリベリアからアフガニスタンに配布されました。

第3200地区

ハンセン病撲滅プロジェクト

インドにおけるハンセン病と闘うため、第3200地区（インド）内のロータリー・クラブは、CLEAR（Community Leprosy Eradication Action through Rotary—ロータリーを通じて地域社会のハンセン病撲滅アクション）と称すプロジェクトを主導しました。このプログラムは、古くから存在するこの疾病で苦しんでいる患者に教育、医薬、手術を与え、身体を癒すだけではなく、地域社会で貢献する市民となる可能性を与えています。

展示時間は、日曜日の1200-1600時、および月曜日から水曜日の1200-1800時です。

ロータリー財団主催、次期クラブ会長レセプション

月曜日の午後4時半から5時半まで国際会議場でのレセプションで、次期クラブ会長はロータリー財団について学び、財団管理委員およびRIシニア・リーダーに会う機会があります。この要チケット行事では、ジェームスL.レイシー管理委員長、カルロ・ラビッツァ副管理委員長、グレン E. エステス・シニア会長エレクトによる挨拶があり、財団管理委員、RI理事、およびその他のシニア・リーダーが次期クラブ会長と会い、ご質問に答えます。

報道記者と会う ロータリーのリーダー

5月21日(金曜日)、OICCに関西地域の14の大手報道機関が集まり、RI国際大会およびロータリー財団の活動についてジョナサン・マジアベRI会長、ジェームズ・レイシーロータリー財団管理委員長、千玄室国際大会委員長およびホスト組織委員会委員に話を聞きました。

関西地方で初の国際大会が43,000人以上の出席者を記録したことは歴史的な出来事であることを説明しながら、マジアベ会長はロータリーの国際大会を国際連合の縮図になぞらえました。「これからの数日間、100カ国からの事業や専門職務のリーダーであるロータリーの会員がここに集合し、私たちの人道的プログラムを通じて世界中に平和を推進するために、各国政府や非政府団体と協力していく方法について話し合います」と会長は述べました。

このアイデアをさらに広げ、レイシー管理委員長は国際親善奨学生プログラムおよび平和および紛争解決における国際問題研究のためのロータリー・センターを紹介し、これらのプログラムに対する日本のロータリアンの力強い支援について、およびロータリー・センターのうち1校が東京の国際基督教大学にあることを説明しました。

マジアベ会長は、「ロータリーが実際に何をしているのかを取材するために時間を割き」、ロータリーの会員となることによって地域社会を助けるよう、報道陣に呼びかけて会話を締めくくり、次のように言いました。「ロータリーは私たち全員のためにあるのです」

事務局が皆さまのお手伝いをいたします

今日の、「お手伝いをいたします」は、リーガロイヤルホテル2階に設置された、RIプログラムおよびロータリー財団各ブースを紹介いたします。

RIプログラム

貴クラブは、世界社会奉仕プログラムを探しておられるか、またはインターアクト・クラブの創設に関心をお持ちですか？ 梅の間にはプログラムの担当職員が待機しており、クラブや地区がインターアクト、ロータリー・アクト、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦グループ、ロータリー友情交換、ロータリー・ボランティア、ロータリー青少年指導力養成プログラム、世界社会奉仕、および青少年交換に参加する方法のアドバイスをいたします。プログラム出版物が展示され、限られた部数をロータリアンの皆さまに無料で配布しています。

予定されている8つのワークショップ

月曜日の午後には、RIおよびロータリー財団の広範囲にわたる活動を含む8つのワークショップが予定されています。時間と場所については、プログラム・ブックをご参照ください。

- **RYLAワークショップ**: このワークショップでは、RYLAプログラムに長けているロータリアン・パネリストが、世界各地のRYLAプログラムの成功事例を発表します。その上、ライブラリアンは自分たちの体験を討論します。
- **次期クラブ会長のためのフォーラム**: すべてのクラブ会長エレクトは、就任年度の準備のために、この情報豊かなワークショップに出席すべきです。将来のクラブ指導者やクラブの効果的な運営方法に関する意見交換や討論をしましょう。
- **YEO危機管理**: ロータリーの青少年交換プログラムを通じて、国際学生交換を組織する上の諸事項に関心がある方は、このワークショップにご参加ください。
- **零細事業金融貸し出しワークショップ**: この対話式のワークショップは、貧困のサイクルを逃れるよう支援するための零細事業金融貸し出し(回転ローン資金)を設置する手順含む、零細事業金融貸し出し過程に関する全側面を参加者に提供します。

- **高齢者への奉仕に関する討論ワークショップ**: プロバスおよびロータリアンとアイデアや成功事例を交換し合うことで、高齢者に社会奉仕を推進する方法を学びます。
- **保健問題/失明救済に関する討論ワークショップ**: 専門技能と経験に豊かなパネリストがエイズ危機、人口増加問題、失明救済推進計画、およびその他多様な問題に関する知識を分かち合います。
- **日本語および中国語による討論ワークショップ**: この2つのワークショップは、各自の区域におけるロータリー・クラブに関連する問題を討論します。この言語別討論セッションでは、同時通訳が提供されません。

エンターテイメント 日程表

5月24日(月曜日)

大阪国際会議場1階プラザ

1300-1400	ジャズライブ Jyu'z
1400-1500	ビッグバンドコンサート COM BIG BAND OSAKA
1500-1530	阿波おどり
1530-1600	彦根殿武者行列 彦根鼓隊
1745-1830	たそがれコンサート 関西大学吹奏学部

リーガロイヤルホテル3階

1000-1100	音楽 二十六世親世流宗家 親世清和 他
1100-1200	日本舞踊 西川充 他
1200-1230	大阪めぐり 伝統ふれあいシアター
1230-1300	江州音頭
1300-1330	京舞
1330-1400	扇子贈呈式 日本書芸院
1430-1530	狂言 大藏流 茂山狂言会 茂山千五郎 茂山七五三 他
1600-1700	音楽 桐竹勤十郎 吉田玉女 他

*都合により演目および時間帯を変更することがあります。



手を貸そう

初めて参加される方々は、あなたがロータリーの家族の中で大切な存在であることを忘れないでください。本大会を最大限に満喫していただくために、『手を貸す』よう私たちの誰にでも気軽に声をかけてください。

— ジョナサン B. マジアベ、国際ロータリー会長

非公式の関連行事

5月24日(月曜日)

アジア・パシフィック朝食会
OICC、イベントホールA/B/C、
午前7時～9時

サウスランド朝食会
ニューオータニホテル、鳳凰の間、
午前7時～9時

ハムデン (Hamden) ロータリー
全日空ホテル高砂の間、午後8時～9時半

国際飛行ロータリアン親睦グループ
年次総会
OICC、1102号室、午後5時～6時半

大阪天満橋ロータリー・クラブ
リーガロイヤルホテル、クラウンルーム、
午後6時半～8時

日本ローターアクト会議
OICC、イベントホールE、午後6時半～9時

5月25日(火曜日)

全アフリカ朝食会議
ヒルトンホテル、桜の間、午前7時～9時

ハート・オヴ・アメリカ朝食会
OICC、イベントホールA/B/C、
午前7時半～8時半

国際旅行および宿泊親睦グループ
(International Travel and Hosting
Fellowship) 年次総会
午前7時半～9時

1995-97年度元RI役員同窓会
リーガロイヤルホテル、
ナチュラルガーデン、午後12時15分～2時

ロータリアン・ヨット親睦グループ
年次総会
リーガロイヤルホテル、菊の間、
午後12時半～3時半

人口問題および開発に関する
ロータリアン親睦グループ
OICC、1006-1107号室、
午後2時～5時半

人道的奉仕のための資源親睦グループ、
OICC、1001号室、午後2時半～4時

多発性硬化症に関する
ロータリアン親睦グループ
NCBホテル、雪の間、午後3時～4時

5月26日(水曜日)

南アジア朝食会
NCBホテル、松の間、
午前7時15分～8時45分

ノーディック朝食会
NCBホテル、淀の間、午前7時半～9時

2000-01年度デブリン・アミーゴス同窓会
リーガロイヤルホテル、友愛の家、
午後2時半～4時

1991-92年度RI役員同窓会
リーガロイヤルホテル、
ナチュラルガーデン、午後4時半

数字で見る
日本のロータリー

日本のロータリーの早見資料

最初のロータリー・クラブ:

1920年10月、東京ロータリー・クラブ

最新のロータリー・クラブ:

2004年3月、
阿波徳島ロータリー・クラブ

現在のロータリー・クラブの数:

2,325クラブ

ロータリアン数:106,355名

ローターアクト・クラブの数:406クラブ

インターアクト・クラブの数:531クラブ

最大規模のロータリー・クラブ:

東京ロータリー・クラブ:331名

過去の大会に関する数字:2回

1961年、東京(23,366名)

1978年、東京(39,834名)

日本出身のRI会長:

東ヶ崎 潔、1968-69年度、

「参加し敢行しよう」

向笠 広次、1982-83年度、

「人類はひとつ」

世界中に友情の橋をかけよう」

2003-04年度に日本の地区が

スポンサーした奨学生の数:302名

日本の地区がスポンサーした

奨学生の総数:6,904名

2002-03年度に日本からの

TRFへの寄付額:17,118,436ドル

1人当たりの寄付額:85.40ドル

国際問題研究のための

ロータリー・センター:

東京、国際基督教大学

ロータリー・センター

ロータリー百年史が友愛の家で
販売されています

百年史委員会委員 菅野多利雄

1905年2月23日にポール・ハリスが3人の友人と語らってロータリーを発足して以来、100年におよぶロータリーの発展の歴史について書かれた『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』(デイビット C. フォワード著・日本語訳監修 菅野多利雄)が、国際ロータリーの創立百周年を記念して出版されました。その中には我々が未だ嘗て知ることの出来なかつたたくさんのロータリアンの活動やまたその時代の貴重な資料、未発表の写真が多く掲載され、大変興味深い内容が平易

な文章でまとめられております。この本は、ロータリアンとして是非私どもの座右の一冊として持つべき必読の書であり、また我々が過去における偉大なロータリアンの足跡を訪ねることが出来、今後の私たちの奉仕活動に大いに役立つものであると思います。日本語版はこの大会で初めて販売されますので、大会参加の記念にもなります。価格は25ドル(現在のレートでは2,650円)で、発刊部数に限りがありますので、是非この機会にお買い求めになることをお勧めします。